

令和7年度徳島県医療的ケア児等コーディネーター・支援者養成研修 カリキュラム

「コーディネーター養成研修（※集合研修を除く。）」及び「支援者養成研修」

		講義名	講義の概要	時間(分)	録画/ライブ
総論 60分	1	医療的ケア児等への支援体制の整備の現状と課題	医療的ケア児の発達と支援の特徴について説明する。また、医療的ケア児支援法をはじめとする医療的ケア児者とその家族に対する支援に関する法律と支援に必要な概念について説明し、今後の支援体制の課題についても説明する。	40分	録画
	2	医療的ケア児等コーディネーターに求められる役割	地域における医療的ケア児者を生活を支えるために、医療的ケア児等コーディネーターに求められる役割を説明する。	20分	録画
医療・保健 330分	1	障がいがある子どもの疾患及び成長と発達の特徴	疾患はもとより障害からくる身体的特徴、発達の特徴、随伴障害の起こりやすい生理機能等について概説する。また、疾患だけではなく、その人を理解しようとする姿勢の重要性等について説明する。	40分	録画
	2	感染対策－標準予防策の考え方－	標準予防策について説明する。また、通所事業所等、各施設での感染対策に活かせる知識についても説明する。	20分	録画
	3	嚥下障害、消化器障害 食事支援と経管栄養について	医療的ケア児者や重症児者の嚥下障害・消化管障害について説明する。また、誤嚥や胃食道逆流等の栄養との関連について、経管栄養法含む食事支援の実際についても説明する。	30分	録画
	4	口腔ケアについて	医療的ケア児者、特に経管栄養の場合の利用児者の特徴について説明し、口腔ケアの考え方や注意点について説明する。	30分	録画
	5	ポジショニングについて	医療的ケア児等や重症児者の成長発達を支援する日常生活で姿勢の援助について説明する。	30分	録画

	6	医療機器について	医療的ケア児が使用する医療機器に関する概要と使用時のポイント等について説明する。また、人工呼吸器に関しては、実際に医療機器を用いて説明する。 ・人工呼吸器 ・排痰装置(カフアシスト) ・在宅酸素 ・カフティポンプ	30分	録画
	7	救急時の対応	個々に重症度や臨床症状が異なる医療的ケア児者の病態生理の特徴を踏まえ、合併症としての呼吸障害やてんかん等について説明する。また、呼吸状態が悪化する要因を概説し、呼吸障害に対する治療法として、人工呼吸器や機械による排痰介助、気管切開、在宅酸素療法等についても説明する。さらに、急変時の観察の視点や対応の仕方についても説明する。	30分	録画
	8	災害対策	医療的ケア児者の災害時の支援についての現状と体制について説明する	30分	録画
	9	母子保健	母子保健の概要について説明し、小児保健分野として医療的ケア児等の支援の重要性についても説明する。	30分	録画
	10	訪問看護の仕組みと訪問看護による日常生活における医療的ケア	医療保険にもとづく訪問看護の診療報酬の仕組みや構造、加算の項目等について概説する。また、小児訪問看護の特徴についても説明する。さらに、体調管理や排痰介助等を含む呼吸管理、保清・入浴介助等のケアといった訪問看護の実際について紹介する。	30分	録画

	11	みんなでつくる医療安全	医療的ケア児者に携わる支援者や支援される側にとって、安心・安全な支援が継続されることの重要性や、ヒヤリハット等を通した医療安全について考える具体的対応策について紹介する	30分	録画
福祉・ 保育・ 教育・ 労働 180分		福祉の制度			
	1	医療的ケア児の成長と発達を見通した支援体制の整備の視点と連携	障害福祉制度の歴史的背景、権利保障体系、障害福祉サービスの手続きや対象者の支援等といった福祉の制度の構造について説明する。また、その制度での関係者との連携についても説明する(自立支援協議会、サービス担当者会議等)	30分	録画
	2	医療的ケア児の遊びと保育 -児童発達支援での支援-	医療的ケア児の児童発達支援・放課後等デイサービスで、学びや遊びに重点を置いた日中活動について紹介する。	20分	録画
	3	医療的ケア者の日中活動 -生活介護での支援-	18歳以上の医療的ケア者の生活介護での、社会生活や意思決定に重点を置いた日中活動について紹介する。	20分	録画
	4	教育	徳島県の教育現場での医療的ケア児の現状について紹介する	30分	録画
	5	労働	医療的ケアのある方の就労に現状について紹介する	30分	録画
	6	虐待防止対策	サービス利用児者の権利擁護のための視点として、障害者虐待防止法や虐待を防止する体制について説明する。また、気になる家庭への対応等の実際の取り組みについても紹介する。	30分	録画

	7	家族支援（意思決定支援ときょうだい児支援）	家族支援を行う上での重要な視点について説明する。内容として、意思決定支援、医療的ケア児のきょうだい児への支援、母親の就労に関する支援についても説明する。	30分	録画
本人家族の思い70分	8	本人・家族の思い	当事者として、医療的ケア児の幼少期から現在までの出来事や就学や家族の就労に関すること、医療的ケア児を育てていく中での思いについて本人や家族に語っていただき、当事者と支援者の関係作りや必要な支援について考える機会を作る。	60分	ライブ (9月20日) 11：00～ 11：50
地域支援体制整備/連携100分	1	小児在宅医療における多職種連携	小児在宅医療における連携及び協働について、その特色や目的、多岐に渡る支援者について紹介する。また、支援者間における葛藤などにも着目してお話いただき、その葛藤を乗り越えた先にある連携の形や支援者間のみならず家族との協働の重要性についても概説する。	60分	ライブ (9月20日) 10：00～ 10：50

	2	連携・協働の必要性 教育/行政/通所等	コーディネーターとして医療的ケア児等の支援に必要な連携や協働の実際について説明する。	40分	録画
ライフ ステー ジ 210分	1	各ライフステージにおける相談支援 に必要な視点	障害者総合支援法にもとづく相談・支援に関する仕組みや役割を概説し、乳幼児期から学齢期、成人期までの各ライフステージにおける相談・支援に必要な視点、そのなかでも医療的ケア児者の相談・支援の特徴について説明する。	30分	録画
	2	NICUからの在宅移行支援	NICU（新児集中治療室）の機能や役割について概観し、家族の思いを尊重したFamily-centered care の考え方等について紹介する。事例を用いニーズアセスメントから支援について説明する。	30分	録画
	3	児童期における支援	児童期における医療的ケア児の支援について、成長と発達を視野に入れた就園・就学への支援について、事例を用いて説明する。また、動く医ケア児の事例についても紹介する。事例を用いニーズアセスメントから支援について説明する	30分	録画
	4	学齢期における支援	学齢期における医療的ケア児の支援について、病態や家族背景の変化により支援の在り方が変化することを事例を含めて説明する。事例を用いニーズアセスメントから支援について説明する	30分	録画
	1	移行期における医療	医療的ケア児の病態変化に伴う移行や小児医療から成人医療の移行期医療についても説明する。事例を用いニーズアセスメントから支援について説明する	30分	録画
	5	成人期における支援	成人期の医療的ケア児の病態変化と生活環境の変化から支援の在り方について説明する。また、家族の支援の在り方についても事例を用いて説明する。事例を用いニーズアセスメントから支援について説明する	30分	録画
	6	医療的ケアの必要性が高い子どもへの支援	在宅で生活する医療的ケア児者の支援について事例を用いて説明する。また、家族(療育者の就労等)・きょうだい児支援についても説明する。	30分	録画

※コーディネーター研修の科目の時間数について、「本人、家族の思いについて」は、家族支援やライフステージの支援の講義も一部含まれる。また、「地域支援体制整備」は福祉制度も含まれる。